

発行／北海道伊達市議会 編集／広報常任委員会 〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1 TEL 0142-23-3331 FAX 0142-23-12200 E-mail gikai@city.date.hokkaido.jp

お知らせ

Information

議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、12月2日から開催され、一般質問は12月8日と9日を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

写真募集

伊達市議会広報紙「みんなの市議会」では表紙の写真を募集しています。詳しくは議会事務局へお問合せください。  
TEL0142-23-3331 (内線 492・493)

平成26年視察受入一覧表

平成26年8月1日から平成26年10月31日まで

月日	来訪議会	視察項目
8/7	宮城県 仙南地方町村議会・亘理地方町議会	ウェルシーランド構想
8/18	北海道 登別市議会	障がい者福祉施策
8/21	北海道 鷹栖町議会	議会だより、道外からの新規就農
10/29	岩手県 大船渡市	定住促進

9月11日、少子高齢化等の社会情勢の変化に対応した行政運営のあり方や地方自治に関することについて伊達市を対象に調査、視察、意見交換のフィールドワークに訪問された慶応大学法学部の学生23名が片山善博教授（元鳥取県知事、元総務大臣）とともに総務常任委員会を傍聴されました。



慶応大学  
片山善博研究会  
総務文教常任委員会を傍聴

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

編集後記

今年の第3回定例会は、9月1日開会で9月30日開会の長丁場でした。くしくも、開会日の9月1日は「防災の日」で、多数の死者・被災者を出した1923年の関東大震災の教訓を後世に伝えるとともに自然災害に対する認識を深め、防災体制の充実と強化を期すために制定されました。

地球温暖化の影響で、これまでにない規模の災害に見舞われる可能性の高まりが指摘されています。8月の広島市での土砂災害では多くの犠牲者を出し大惨事をまねきました。また、北海道ではめずらしく豪雨による土砂崩れで犠牲者が礼文島でも出てしまいました。全国的に短時間で局地的に降る「ゲリラ豪雨」が多発しています。悲劇を繰り返さないためにも、自助、共助、公助のさらなる連携強化が求められています。

また、9月27日には岐阜県と長野県の県境に位置する御嶽山の突然の水蒸気噴火により多くの登山者が犠牲になりました。

私たちは、災害が多発する国土に住んでいる自覚を今一度認識し、地道な対策を重ね、さらなる災害に強い社会を構築する時が来ていると思います。

先日、洞爺湖町で開かれた防災講演会に参加しました。講師は東日本大震災において、岩手県釜石市の多くの子どもたちの生命を救った「津波でんご」の普及に努めた群馬大学・片田敏孝教授の講演会。その中で教授は「防災と言っても一人の犠牲者を出さないのが本当の防災対策だ」と力説したのが印象的でした。

原見 正 信

広報常任委員会 (8人)

- 委員長 吉野 英雄 副委員長 辻浦 義浩  
委員 山田 勇 菊地清一郎 犬塚 貴敬 上村 要 小久保重孝 原見 正信